

稲作管理情報（コシヒカリ穂肥・病虫害防除）

令和 8 年 7 月 2 日
高岡市農業協同組合
高岡農林振興センター

コシヒカリの幼穂形成期は、7月7日頃と見込まれ、平年より3日早くなっています。てんたかくの出穂期も早くなっています。葉色の急激な低下を防ぐため、干しすぎないようにするとともに、葉色が淡い場合は追肥をしましょう。

- ・幼穂形成期以降は、「飽水管理」（足跡に水が残る程度の湿潤状態を維持）、出穂後 20 日間は、「湛水管理」を行いましょう。
- ・雑草地では、斑点米カメムシ類の発生が多く確認されています。雑草地や畦畔の草刈りを徹底するとともに、本田防除は品種毎に適期に行いましょう。

表 水稻の生育状況（調査圃データ 6 月 30 日調査）

品種名	年次	田植日	草丈	茎数		葉令	葉色	幼穂形成期
			(cm)	(本/株)	(本/㎡)			
てんたかく	R 8	5/3	61.9	24.5	515	12.6	4.1	6/20
	R 7	5/3	64.6	23.9	527	12.1	4.0	6/22
	平年	5/2	61.2	28.3	580	12.0	4.3	6/25
コシヒカリ	R 8	5/13	59.7	30.1	620	11.5	4.1	(7/7)
	R 7	5/11	62.8	25.5	535	11.4	4.2	7/10
	平年	5/13	55.5	26.0	540	11.1	4.3	7/10
富富富	R 8	5/16	52.2	27.7	639	10.5	4.2	(7/12)
	R 7	5/18	55.5	28.2	626	10.8	4.4	7/14
	近年	5/14	46.9	26.8	568	10.4	4.4	7/13
てんこもり	R 8	4/29	59.5	31.2	676	13.2	4.2	(7/9)
	R 7	4/29	56.2	31.0	632	12.3	4.3	7/10
	平年	5/2	50.0	35.2	660	12.3	4.3	7/10

営農記録ノートを活用しましょう

- ・穂肥や病虫害防除、今後の水管理等については、「**営農記録ノート**」P30～35を確認し、行ってください。
- ・農作業を行ったら、**P33 の「農作業のあしあと」**にしっかりと記録しておきましょう。



※幼穂形成期の()は予測日

コシヒカリの基肥一発体系での追加穂肥

出穂前の葉色が淡い場合は穂肥の施用を

- ・原則として、追肥の必要はありませんが、出穂期の7日前頃に葉色が淡い場合はすぐに追加穂肥を施用しましょう。

時期	追肥が必要な葉色	施肥量 (10a 当たり)
出穂 7 肥前 (5/13頃田植の場合:7/21)	4.0 未満の場合 (砂壤土は 4.2 未満)	追肥 3 号 7 kg

- ・葉色が 4.0 より淡い場合はすぐに追肥しましょう。
- ・特に砂壤土では遅れずに追肥しましょう。

コシヒカリの分施肥体系での穂肥

- ・幼穂形成期頃の生育量に応じて、穂肥の時期や施肥量を判断しましょう。

【「追肥 3 号」で穂肥を施用する目安：5/13 田植の場合】

7 月 7 日頃 幼穂形成期 (幼穂長 2mm)			7 月 15 日頃 1 回目穂肥 (幼穂長 15mm)			7 月 22 日頃 2 回目穂肥	
生育量			生育量			施肥量	
適正	草丈	70cm 程度	8 日後	草丈	80cm 程度	1 0 kg/10a	7 日後 1 0 ~ 1 2 kg /10a
	葉色	3. 8 以下		葉色	3. 6 程度		
	茎数/株	26 本以下		ほ場	らち間すっきり		

■上記の生育量を上回る場合は、担当営農指導員等にご相談ください。

水管理のポイント

- ・茎数が多いことから、葉色の急激な低下を防ぐため、田面は干しすぎないようにしましょう。
- ・幼穂形成期から出穂期までは飽水管理、出穂後 20 日間は湛水管理を徹底し、稲体の活力を維持しましょう。

水管理のイメージ(コシヒカリの場合)

区分	7/上	7/下	8/中	8/下	9/上
水位のイメージ	水深 3cm ↑ ↓	【幼穂形成期】 ↓	【出穂】 ↓		
水管理	間断かん水	飽水管理	湛水管理(20日間)	間断かん水(収穫5~7日前まで)	落水

病虫害防除

カメムシ類の発生量は平年に比べ多くなっています。

1 雑草防除

表 斑点米カメムシ類の発生量調査結果(6月23日調査)

- ・雑草の穂が出る前に草刈りをしましょう。
- ・水田内の除草を徹底しましょう。

年次	確認地点率 (%)	発生平均頭数 (頭/地点)
R 8 年	100.0	22.4
平年	92.7	21.4

2 本田防除

【粉剤・液剤体系】(防除間隔は、7日間を目安とし10日以上あけないようにしましょう。)

剤型	品種名	1回目			2回目(1回目の7日後)	
		散布時期	農薬名・散布量	使用時期	農薬名・散布量	使用時期
粉剤	てんたかく	穂揃期 7月15日頃	ビームモンカットスタークルF 粉剤 5 DL 4 kg/10a	収穫14日前まで	キラップ粉剤DL 4 kg/10a	収穫14日前まで
	コシヒカリ	出穂期 7月28日頃				
	富富富	出穂期 8月 2日頃				
	てんこもり	出穂期 7月30日頃				
液剤	てんたかく	穂揃期 7月15日頃	ビームエイトスタークルゾル +モンカットフロアブル 1000倍液 100~150 L/10a	収穫14日前まで※	キラップフロアブル 1000倍液 100~150 L/10a	収穫14日前まで
	コシヒカリ	出穂期 7月28日頃				
	富富富	出穂期 8月 2日頃				
	てんこもり	出穂期 7月30日頃				

【粒剤体系】(3~5 cm の湛水状態で田面に均一に散布し、散布後7日間は落水しないでください。)

品種名	散布時期	農薬名・散布量	使用時期
てんたかく	出穂5日前 7月 5日頃	イモチエーススタークル粒剤 3 kg/10a	収穫35日前まで
コシヒカリ	出穂直前 7月25日頃		
てんこもり	出穂直前 7月27日頃		

※特に、てんたかくは散布時期が遅れないように注意して下さい。

○ご不明な点は JA 高岡 担当営農指導員 または 高岡農林振興センター 高岡班(26-8477) までお尋ねください。